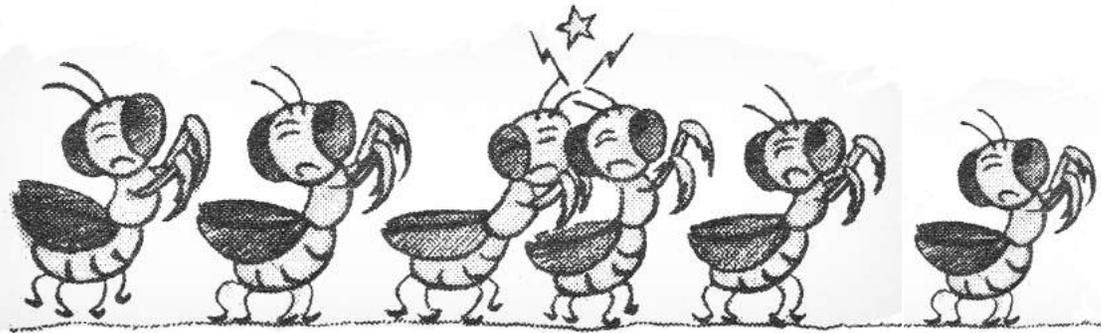


楽しいニュース

ニューズレター
No. 04
2018/12



そうごうぼうさいくんれん 総合防災訓練をしました！



11月11日、楽し荘だけでなく金親ビル全体としての総合防災訓練をしました。

当日は、利用者さんの家族の方々の協力を得て、スタッフと家族とが避難経路のポイントに立って、同行なしの利用者さん単独避難の初体験です。この日のために折りたたみ式のヘルメットを用意。

利用者の皆さん、避難経路をしっかりと覚えています。

避難梯子降下体験、消火訓練など日ごろ体験できないことを経験した貴重な時間でした。



左3枚 非常階段をそれぞれ単独で避難。足腰の弱い利用者さんにはスタッフが付き添います。

右 避難経路に立つスタッフを目印に避難開始。



今回の防災訓練は初体験ばかり。やってみて良かった！



1 ①避難ばしごのふた。日頃はそこにあるとわかっているけど、あけたことはありません。
2 ②消防署の方があけてくださり、降下体験をしました。以下、利用者さん本人のコメントはゴシックにしています。



3 K Sさんは、「ゆれて怖かったけれど頑張った。」
4 S Sさんも「頑張りました。」
5 ⑤⑥消火訓練も消防署の方が直に指導してくださいました。
6 A Iさんはパスでしたが、他の利用者さんのすることはちゃんと見ていました。
7 Y Sさんは、「まを倒せたよ。」



8 R Yさんは、「まどに当てました。」
9 ⑦T Kさんは、「避難ばしごはできないけれど、消火訓練はできた。」
⑧K Sさんは消火訓練も一生懸命でした。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
防災訓練には利用者さんのご家族も参加されていました。
ご家族から感想をいただいています。

K Sさんのお母さん。

「子供の過ごす場所が消防署と直結⑨していることに安心し、また、このような行事があることもありがたいことと
4 思いました。なかなか知ることのできない火災報知器の知識も得られてとても良かったです。近くに住んで
5 いるので、人手の足りない時には、ぜひお手伝いをさせて
6 いただきたいと思います。本人は音に敏感なところがあるので、誤作動についてはあまり頻繁に起こらないよう願っています。
7 避難用リュックと靴は近日中に準備します。今日はありがとうございました。」



S Sさんのお母さん。

「避難訓練を初めて見学させていただきました。業者の方が入っての避難用具や消火体験など私達も一緒にさせてもらい貴重な経験でした。また火災報知器の誤作動があった時は事後報告でも教えていただきたいと思います。」

スタッフの皆さん休日の中ご苦労様でした。今後ともよろしく願いいたします。」



町内美化活動に 3 回目の参加！

実は、11月11日は、防災訓練の前に8時半から恒例の町内美化活動に参加し、10時半から自室大掃除という大変な日だったのです。



10

町内美化活動

今回は、利用者さん全員参加です。!(^^)!

⑩ A Iさんは他の利用者さんが引いた草を集めてゴミ袋に入れ、スタッフを感動させています。

⑪ Y Sさんは毎日のゴミ拾いの経験炸裂!! どんなに小さなゴミも見逃しません。S Sさんはスタッフと一緒に、草引き。「ゴミ袋に入れてね」とスタッフの世話もしてくれる癒しキャラです。

11



12

⑫ R Yさんは初めての参加でしたが、日ごろのお掃除好きは即戦力です。

⑬ T Kさんはまじめにコツコツ。他の利用者さんが拾い落したゴミも丁寧に拾っています。

⑭ K Sさんは作業所でも、清掃作業が大好きというだけあって、ミリ単位の草まで引いています。

13



このパワーで環八通り新田駅駅入り口から、両側2ブロック(計4ブロック)のゴミ拾い、草引きを行いました。

14

⑮ 町内の方から、ありがとうございますの言葉をたくさんいただきました。

自室大掃除

ご家族と一緒に、窓ガラス拭きやベッドを動かして隅々まで掃除。

⑮ スタッフがエアコンフィルター外す間は、一休みです。



15

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

スタッフからのメッセージです。

佐藤さん「お疲れさまでした。何気なく通りの向に目を向けると、A Iさんがゴミ袋を広げてしゃがみこんでいる姿が目に入り、驚きました！

よく見ると、ゴミ袋に草を入れている。感激でした！前回までは、ゴミ袋を持ったまま仁王立ちだったA Iさん。町内清掃終了後、「はい！」とA Iさんに町内会からのティッシュとお茶を渡すと、ちゃんと私の手から受取ってくれました。僕も、みんなと一緒に掃除したからね。だから、お茶とティッシュは貰うよ。と、思ったのだと…(^_-) ☆ 思います。」

諏訪部さん「皆様お疲れさまでした。恒例となった町内美化活動3回目の参加は、利用者さん6名、スタッフ4名<楽し荘パワー>の集結でした。

楽し荘の利用者さんの<地域に根差した暮らし>に思いをめぐらした時、誰でもがその力に応じた地域の力になることだと思いました。<共生>し、地域理解を得るためには、自らが地域に出ていくことだと考え、町内美化活動の参加を提案しました。

個々に素晴らしい力を持っているお一人おひとりが、地域の一員として暮らしていけることが願いです。異論もあるかもしれませんが、地域の方と同じ志しを持って取り組むこの活動は双方に意義あるものであると信じ、今後も続けて欲しいと願っています。」



ハロウィン・デザート？！



10月31日、繁華街ではハロウィン・フィーバーで盛り上がっているようです。

ホームでは穏やかに、ちょっとかわいいパンプキンプリンのデザートに笑顔で夕食。ハロウィンのお菓子は、明日のおやつにとっておこうと!(^^)!



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

楽し荘の食事ではお酒が飲めることはありません。これは、お酒を飲むことを禁止しているわけではなく、個室やイベントで適度にたしなむことは自由です。もちろん、共同生活を乱すような飲み方は慎まなければなりません。

それは、障害のない一般の人と同じはずですが、でも、障害のある人が酔っぱらっていようものなら「やっぱり障害のある人が酒を飲むのは危ない」と、決めつけたように言われることがあります。

警察庁が公式サイトで「電動車いすの安全利用に関するマニュアル」なるものを公開し、その中で（危ないので）「飲酒して電動車いすを利用することは絶対にやめましょう」と呼びかけています。

しかし、事故があれば普通に処理すればいいのであり、一般の歩行者よりも危険とあらかじめ禁止するのは偏見でしょう。電動車いすを使用する人はその危なさをよくわきまえていて、人一倍注意しているものです。「なにしろ何かあっても逃げられませんからね」と、ちどり車で憤る理事長でした。(S)

今後の日程です

1月6日（日）スタッフ会議・新年会
2月11日（日）たのしい会・2月誕生日会
2月（未定）人権プロジェクト

3月（未定）スタッフ会議
3月さくら祭り
※未定の日時は決まりしだい連絡します。

たの 楽し荘 ニュースレター 04号

2018年12月25日発行
NPO 法人 フットルース
理事長 志子田悦郎（社会福祉士）

〒146-0093 東京都大田区矢口1-5-4 金親ビル3F
TEL 03-6716-2640 FAX 03-6715-5600